



市の花  
すずらん



市の木  
ひのき



市の鳥  
うぐいす

7月28日

# 子ども議会 開催



一般質問の概要をお知らせします



宇陀市誕生10周年  
かがやけ 宇陀市  
～森に向かつて～

# あすの宇陀市を託します



太田遥日 議員 (大宇陀小)
めったに座れない席に座らせてもらって光栄。今日のためにいろいろ勉強した。

宇陀市の災害対策について

宇陀市は豊かな自然に恵まれたところですが、最近国産の木材を使う人が減り、作物を作らない田畑等の荒地も増えまし...

市長 市には美しい森林と豊かな農地が多くあり、これらの財産を守り、次の世代に受け継いでいくことは、私たちの使命であると思っています。

森林には木を育てるだけでなく、さまざまな働きがあります。例えば、雨がふれば一度その雨水を土の中にたくわえ、川に流したり、木が空気をきれいにしたりする働きをもっています。

避難情報・避難所について
避難準備情報・避難勧告・避難指示とは
避難準備情報 避難勧告 避難指示
避難所
避難所は、災害発生時に避難する場所として指定されています。

これまで「地震防災マップ」や「防災対策基本マニュアル」、また今年には「市民便帳2015」という本で災害に備えた準備、対応についての記事を掲載し、全家庭に配布しています。

ペットは、家族の一員としてとても大切にされていると思います。ただし、多くの人々が共同で利用する避難所では、匂いや鳴き声、アレルギー等、周りの人たちに對する心遣いが求められるため、避難所内でペットと人が一緒に過ごすことは難しいと考えるため、ペットは屋外においていただくこととなります。



岡本明音 議員 (菟田野小)
とても良い思い出になった。家族ともいろいろ議論ができた。

国際交流について

今、小学校でも外国語活動が取り入れられ、5〜6年生は毎週1時間英語を学んでいます。また、今後インターネットやいろんな場面で英語や国際感覚が必要になってきます。

市長 日本の次代を担うみなさん方、若い世代の方々々が世界的規模で活躍するためには、文化や考え方の違いを知り、受け入れていくことが大切です。

現在、市では「国際交流を進める会」「室生国際交流村実行委員会」の2団体が国際交流活動を行っており、市はその支援をさせていただいています。



大家衣穂理 議員 (榛原小)
自分の意見をしっかりと言えた。達成感があります。

高齢者の見守りについて

ユースで孤独死の問題をよく聞きます。地域や配達の人が高齢者の見守りをしてきています。しかし、それでも目の行き届かないことがあったりすると思います。

市長 市の人口の35%が65歳以上の高齢者です。その中で「高齢者の見守り・孤独死の問題」については、高齢者を孤独にしないような仕組みづくり、地域づくりが大切です。

市では、高齢者を見守る仕組みとして「高齢者等見守り隊事業」をはじめ見守りや安否確認を兼ねた「配食サービス事業」、24時間体制で対応できる「緊急通報装置の設置制度」も進めています。

ですが、一番効果があるのは、やはり隣近所での「声かけ」や「関係づくり」です。みなさんも、まず、自分のおじいさん、おばあさんを大切にすること、ご近所で高齢者に出会ったら挨拶したり、声をかけたりすることを心がけて、子どもたちから地域全体に広めていただきたいと思います。高齢者の方々を、地域のみんで見守り、宇陀市に住んでいてよかったと思える、安心して暮らせる地域を一緒に作っていききたいと思っています。



竹中遥香 議員 (榛原東小)  
この独特の雰囲気に緊張した。大人の世界を少し垣間見れた気がした。

### Q オリジナルグッズ等の制作について

**私** はこのまちに生まれてよかったと思えます。宇陀市は自然に囲まれ、人々も優しくいいところだと思えます。そんな宇陀市にもっと人が来てにぎわえばうれしく思います。そこで、観光を楽しめるように提案します。①宇陀の農産物で作ったグルメ ②観光と一体となったイベント ③新たなゆるキャラを作ったショーをするなど。グルメ・イベント・キャラクター、この3つをセットに観光をPRしてはどうかでしょうか？

**A** 市長①イベントを開催し、地元農産物を宣伝すれば、多くの観光客が宇陀市を訪れてくれるし、地元ならではの物を食べて喜んでくれるだろうと思っています。

市では昨年「ご当地グルメ決戦」を開催し、好評を得ました。今年も規模を拡大して10月24・25日に開催します。ぜひお越しください。また、イベント等を通じて大和トウキ等の薬草の魅力と「薬草のまち宇陀市」を全国にアピールし、観光とともにまちの創出に務めていきたいと考えています。

②「宇陀シティマラソン」の昨年度の参加人数は、全体で約1,800人で、そのうち市外からの参加は約70%でした。この催しでは、毎年参加者に観光や温泉のPRやお土産の販売を行い、マラソンだけでなく、宇陀市を楽しんでもらえるよう工夫しています。

③イベントでは、参加者を楽しませる「ゆるキャラ」は人気があり欠かせないものです。今後、市にちなんだキャラのアイデアがあれば一緒に考えていきたいです。



### Q 公園管理と整備について

**私** 園がある道路や空き地等、危険な場所が遊ばず子どもが減るし、地域の方もその場所が集まってきたり、地域の子どもの安全に遊ばず、また地域の方が運動して健康を高めるためにも、公園の整備と安全管理をお願いします。



永井優輝 議員 (榛原西小)  
良い経験になった。参加して本当に良かった。

**A** 市長市内には89カ所の公園があります。市が、ご指摘のとおり公園がない地域もあります。公園の管理は草刈りや清掃作業、遊具の点検や修理等、地域の方々の協力が得られないとなかなかできませんので、増やすことは難しいと考えます。しかし、今ある公園を安全に有効活用できる方法を一緒に考えたいと思います。

また、健康な人を増やしたいというのは、すばらしい考えだと思います。市では重点施策として市民が健康で幸せに暮らせるまち「ウェルネスシティ」を掲げています。その一環として、ラジオ体操を推進したり一部の公園では健康遊具を設置していますので、楽しみながら心も体も健康になっていただきたいと思っています。ウェルネスシティ推進に建設的なご提案ありがとうございます。市の施策に参考したいと思います。

### Q 観光について

**私** たちは観光客を増やすために、それぞれの観光地に①お土産屋を作る ②ゆるキャラを作る ③観光ルートや子ども向けの体験イベントを行う ④高齢者の送り迎えのサービスをする 等のアイデアを考えました。市では観光PRのためにも、なんかなことを行っていきませんか？



勝村文音 議員 (室生西小)  
こういった機会を通して、少しでも市が良くなっていけばいいな。

**A** 市長①市には四季折々に有名なものがたくさんあります。昨年度の観光客は年間約120万人。季節によって観光客が少なくなっているのも事実です。観光地の近くにおみやげ屋さんを作るのは、すばらしいアイデアです。どんなお土産屋さんであれば、観光客の人が喜んでくれるかなかなか難しいところなのですが、これからのいろんな方々と相談し、検討します。

②現在、市にはウツピー・ハッピーがいます。それぞれの観光地にゆるキャラがいれば盛り上がると思いますが、あまりに多くいると、観光客が混乱するかもしれませんので、彼らの兄弟や両親を創るとかが、わかりやすくいいかもしれません。

10周年記念事業

災害対策

国際交流

高齢者の見守り

オリジナルグッズ等の制作

公園管理

観光

③現在、車で簡単に市を一周するようなルート案内づくりを検討中です。また子ども向けの体験イベント等については、毎年9月に「宇陀子どもフェスタ」を開催し、1,800人位の来場があり、また、「つた・アニマルパーク」の子ども向けお楽しみイベントには年間15,000人以上の参加があります。子どもたちの笑顔が響くような宇陀市を目指していきます。

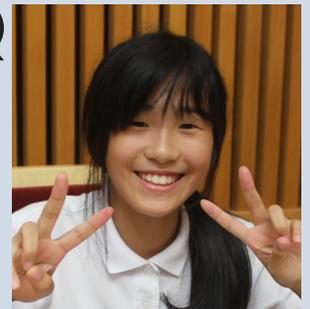
④イベントの時に高齢者の送り迎えをすべしというご提案ですが、すばらしい考え方です。高齢者がいるんな場に参加できる機会が増えればいいなと考えますので参考にさせていただきます。

現在、「ウエルネスシティ構想」に基づき、何歳になっても「健幸」な人たちであふれるまちづくりを目指しています。市では全国の60才以上の方たちが参加する「還暦野球大会」を招致していますが、みなさん本当に元気で美にすばらしいです。

このように宇陀市の自然豊かなところを全国に発信し、他の地域にない高原のまちの文化をアピールしていきたいと考えています。また、外国人の観光客に対して英語版のフェイスブックで情報発信するなどの取り組みも実施しています。



宇陀市公式フェイスブック紹介ページ



服部あきは 議員 (室生東小)  
本物の議員みたいなのができて、すごく興奮した。大変だったけど楽しかった。

Q 学校統合について

室生東小は、私たちの卒業と同時に室生西小と統合します。私たちの母校がなくなるのはさびしいことです。みんな統合するというのはよくわかっているのですが、統合する理由はあまりよくわかっていません。どうして統合するのか理由を私たちにもよくわかるように教えてください。

A 教育長  
効果を上げる学校の適正規模と配置として、室生地域の子どもたちに望ましい教育環境を提供していくための検討が始まりました。

それまで平成14年4月に旧室生村が6つの小学校を2校に再編統合されました。その当時の小学校の児童や地域の人たちも母校がなくなるといさびしい思いを乗り越えての再編統合でした。しかしその後、両校の児童はほとんど減っています。このままでは、2つの学年が1つのクラスで勉強するスタイルになってしまうかもしれません。小さな規模の学校でもさまざまなメリットがありますが、運動会等の集団行事が適切に進められないとか男女の比率が偏るなどの問題もあります。

しかし、統合することで、子どもの頃から多くの仲間の中で学び、自分の個性を発揮したり、いろんな仲間とふれあいができる学びが広がり、これから生きていくうえで社会性や協調性、向上心を身につけることができます。

そこで、地域や関係のみなさんと話し合いを重ね、その結果2校を統合することになりました。今後みんなが手をつないで「室生小学校」の新しい歴史を創り、室生地域の未来に向かって活躍していただけるように応援していきます。



下西生純 議員 (榛原小)  
なんとなくの気分で参加したけど、実際にやって良かった。

Q テーマパークやお店の誘致について

市内にもっと遊べるスポットやお店の誘致を進めてみてはいかががでしょうか？観光客や市に来る人が増えることで、「宇陀」のいいところや名産品をアピールできると思います。

A 市長  
市の人口は年々減少し、高齢化も減少しています。市では、そういった状況を何とかしようと、国の「まち・ひと・しごと創生法」という法律にあわせ、市の将来の姿を示す「宇陀市人口ビジョン」を作り、宇陀市ならではの魅力を全国に発信し

ていきます。企業やお店、テーマパーク等の誘致をより一層進めていくためにも、市の情報発信は重要なことです。

多くの歴史文化遺産をはじめ、四季折々の風景、日本の原風景ともいえる自然環境が宇陀市の魅力であると思いますし、高原の文化都市である宇陀市全体をテーマパークとして捉えていく方針を持っています。

こういった魅力発信により、まずは宇陀市を知ってもらい、また来てもらうことが重要であり、宇陀市を元気にする一つの方法で、大切なことと考えています。来てよかった、住んでよかった、また皆さんが大人になっても住み続けたいと思えるようなまちづくりを進めていきます。





吉岡優羽 議員 (大宇陀小)  
議会とか市のこととか、いろいろ勉強できて良かった。

Q 学校についての希望

私 たちの大宇陀小は4つの学校が統合して新しく建て替えられました。小学校を訪れる方からはすばらしい校舎だとほめていただきましたが、私たちも「学校をいつまでも大切に使う」という気持ちを全校生が持ち続けていかなければならないと思っています。そこで①校舎の屋上に太陽光パネルがついていますが、環境のためもっと増やせませんか？②給食を残す人が多いのでバイキング形式にしたり、希望を聞いて献立を作ってほしいです。③授業でタブレット端末を使って勉強したいです。

A 教育長 ①みんなで学校をきれいに使ってもうれしいことだと感激しています。市では、自然エネルギー等の環境学習の一環で、校舎の工事の際に太陽光パネルを設置しています。しかし設置費用はまだまだ高いのが現状です。

今後とも国や県と協力しながら、太陽光発電システムが普及しやすい環境を作りたいと思います。

②給食を残す人のことばかりでなく、食育について考えようとするのをうれしく思います。

はじめに、学校給食は、給食を受ける児童が、健康を維持し成長するために、成長期の児童に十分な栄養量を確保したり、家庭の食事に不足しがちな、カルシウム・鉄・ビタミン類の確保に努めたり、嫌いな食べ物や献立でも、食べやすいように調理する、組み合わせる、盛り付けるなどの事を考慮して、献立を考えています。

そういったことから、現在の配食方法で行う方が、学校給食本来のメリットが多いと考えるため、バイキング形式は検討していません。

しかし、今後、栄養士が献立を複数用意し、その献立の中から選んでもらう「セルフ給食」や、学校での食育授業やアンケートによる「リクエスト給食」等、魅力ある給食づくりを検討していきます。

③市の全ての小中学校には、パソコン教室があり、インターネットを利用した調べ学習やプレゼンテーションのための資料作りなどで活用しています。その一環として、市でもこれからタブレット導入も検討していきます。

私が小学生の頃は、パソコンを利用した学習はありませんでした。日々便利になっていく世の中で、学びのスタイルが様々な変化していくのは当然のことかもしれません。

でも、学びがこの本当の意味は、学びが本人、つまりみなさん一人ひとりの中にあります。時と場合によって自分に必要な機器等を上手に選択し、使ってほしいと思います。



中谷瑞希 議員 (菟田野小)  
自分の質問がしっかり言えた。自信がたった。

Q 市立図書館の利用について

図書館の利用状況について教えてほしいです。また図書館は大宇陀と榛原にしかありません。遠くても図書館が利用できるように、移動図書館や夜間でも利用できる日ができませんか？また、大宇陀図書館にも自習室を作ってもらえませんか？菟田野に分室ができればなおうれしいです。

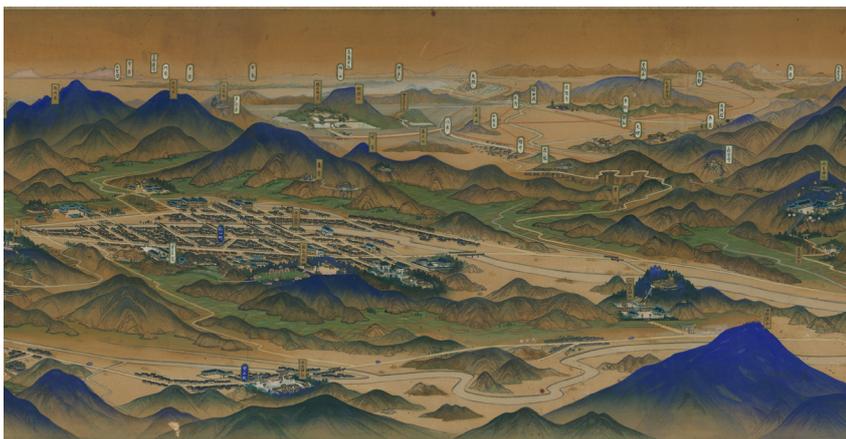
A 教育長 図書館を利用していただいてありがとうございます。計では、2館合わせて約13万5500冊の本があり、延べ約4万1,400人の方が利用されています。

身近に本を手にとって選びたいというご意見は本当にうれしく思います。インターネットやスマホからも本の予約はできますが、予約方法については、図書館以外でも学校に行つて授業をさせていただくこともあり、お気軽に声をかけてください。

また、学校や学級で借りると団体貸出しになり、長期間で多くの本を読むこともできますし、今年の3月に「宇陀市子ども読書活動推進計画」が作られ、今後、子どもたちに、どうやって本を読むことの楽しさ

を知ってもらおうかと、検討しているところです。その中には学級文庫への団体貸出しとして定期的に本を学校に届けるサービスも検討していますので、引き続きこれらの方法で図書館のご利用をお願いします。

自習スペースの質問については、大宇陀図書館は狭いので、スペースを作ることは難しいです。でも、菟田野のワールドメイプルパークに寄贈資料展示室が8月1日から開室します。館内で読んでいただけるように机やイスは用意しています。夏休みには調べもの学習に、ぜひ利用してみてください。



吉田初三郎作『大和宇陀郡神武天皇御聖跡御図絵』(昭和13年)

10周年記念事業

観光

学校統合

テーマパークや  
お店の誘致

学校への希望

市立図書館の利用



堀之内隼仁 議員 (榛原小)  
緊張したけどやってよかった。いい思い出になった。

### Q ゴミ・糞尿の処理について

道路や公園にゴミのポイ捨てや犬の糞が目につきます。公園にゴミ箱を設置して、ポイ捨てされることのないようにしてください。また、犬の飼い主に糞の処理を徹底してください。

**A** 市長 まずは、ゴミは出した人が責任をもち処理をしなければなりません。そこで、公園にゴミ箱を置かない理由は、ゴミの分別を行っており、ゴミ箱管理の手間や処理費用もかかること、また、今、ごみ処理は有料になっているので家庭のゴミが出されたり、「ゴミがゴミを呼ぶ」となるおそれがあることです。ゴミ箱の設置にはゴミが散乱しないという良い点もありますが、同時に多くの問題点もあるということです。

また最近では、観光地等へ出かけるゴミの受け入れ箇所が減少し、ゴミの捨て場所に困るといった経験があると思います。これは「ゴミを捨てさせない」という事では大きな成果があがっています。

②奈良県では、動物の飼い主の義務について規定されており、そのことをしっかりと周知することが必要です。今後も、広報や看板、飼い主の方へのチラシの配布等でマナーの向上を図っていきます。



木戸裕也 議員 (榛原東小)  
感無量。大変だったけど議長という大役を受けさせてもらってよかった。

### Q スポーツ教室の開催について

最近体力の低下が問題になっていきます。近くにもっとたくさん種類のスポーツ教室を開けば、運動する人ももっと増えると思います。僕は、卓球やレスリング、相撲等に興味あります。

**A** 教育長 スポーツを通して、心も体もたくましく成長するだけでなく、夢の実現や最後まであきらめない心を育てる意味においても、目標に向かって努力する人が増えるのではないかといい意見は、本当に頼もしく思います。

市では教育の場に「おはようタイム」や「うだ元気体操」「外遊び」「サーキットトレーニング」を取り入れています。子どもの頃から運動スポーツに取り組むことは、生涯を通じて運動をしていくために、とても大切なことです。

また、市には、野球をはじめ22競技が体育協会に加盟していますが、レスリングや相撲等は、競技人口が少ないのかまだ加盟には至っておらず、今は教室を開くことができずご要望に応えられないので残念に思っています。今後どんな教室が開催できるかなどは、関係機関とお話をさせていただきます。



藤田樹理 議員 (榛原西小)  
緊張したけど、一生懸命考えた。満足している。

### Q 農産物のブランド化と地産地消について

宇陀市には多くのおいしい農産物があるのでブランド化と地産地消を進め、産業を活性化してほしいのですが、市内の人には知ってもらいたいので、試食会や料理のレシピを公開したり、学校の授業に取り入れ、もっと身近に感じられるようにしてはどうですか？

**A** 市長 市では、「ほうれん草」や「金ごぼ」や「黒豆」等の栽培が盛んでこれらの農産物を多くの方に知ってもらいたい。いろいろなイベントでPRを行っています。中でも毎年10月に行う「ふるさと宇陀黒豆枝豆祭り」には、毎年多くの人が参加され、黒豆枝豆の収穫体験や加工品の試食を通じて生産者と参加者の交流を図る取り組みを行っています。

また、市内には4箇所の農産物直売所があり、新鮮な農産物や加工品を販売しています。インターネットショップを開設し、特産の「ブルーベリー」や「宇陀牛」、「和菓子」等の銘菓を全国に発信し、また、ブランド化として市内の特産品・名産品をホームページで紹介していますので、ぜひアクセスしてください。

今後、農産物のブランド化と地産地消を進めていくためには、農産物の試食会や料理のレシピの紹介、また収穫体験等を行うということが非常に重要なことだと思えます。市内で栽培された農産物を多くの方に知っていただき、また食べてもらえるよう取り組んでいきます。



窪田仁美 議員 (室生西小)  
市を勉強できて良かった。市のことわかった。

### Q たくさんの人に住んでもらうことについて

宇陀市は高齢化が進んでいて、幼稚園や小学校の子ども数が減ってきています。若い人を増やすには、市の良さをPRして、引っ越してもらえたいと思います。市ではたかさんの若い人に住んでもらえるように、どんな取り組みをしていますか？

これからの宇陀市には有名な名所を大切に、若い人がたくさん住んでいて安心して子どもが遊べるまちになってほしいです。

**A** 市長 市では、「子どもたちの笑顔あふれる子育てしやすいまち」を目指し、「ぴかぴか1年生応援事業」「トリプルチルドレン応援事業」「子ども医療費助成事業」等の子育て支援、また「移住定住促進奨励金制度」や「空き家情報バンク制度」

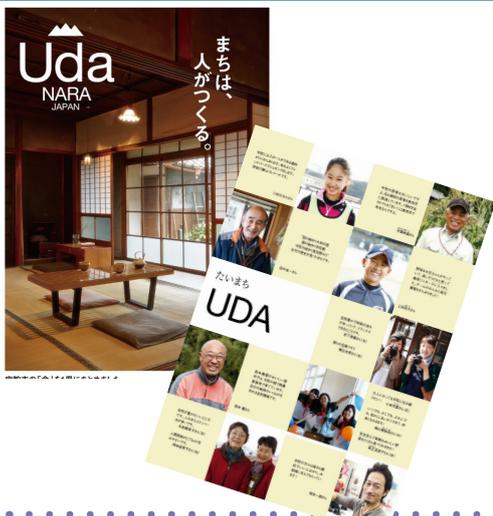
また「移住定住ワンストップ窓口」として移住定住の取り組みや情報発信を行っています。

若い人に住んでもらうには、働くところを市内につくることが必要だと思います。市では20歳代の方の転出が多いのですが、その理由は進学や就職のためとなっています。宇陀市には、豊かな自然、大阪へ電車で1時間以内の通勤圏内等、移住するにあたって多くの魅力があります。

そのような魅力は、情報を発信しないことには伝わりません。他の市町村との違いや宇陀市の魅力を幅広く情報発信することにより、移住定住の候補に挙げていただくと考えます。

そういったことから、10周年の記念冊子を作成いたしました。そこでは今までは違った面から情報を発信しましたので、ぜひご覧ください。

また、昨年9月に「人口減対策本部」を設置し、いろんな分野で調査研究し、検討しています。みなさんにとって、住み続けたいと思う宇陀市を作っていきます。



好村初美 議員（室生東小）  
市がいろんなことを考えているのがわかった。大人になった時には役に立ちたい。

## Q サルやイノシシ等の被害対策

校で植えたサツマイモがサルの被害にあいました。地域でもいろいろな対策をしています被害が増えています。市では、サル等の被害についてどう考え、どんな対策をしていますか？

**A** 長有害獣の被害は、丹精込められた市お米や野菜等を一瞬にして食い荒らされ、被害金額だけでなく農業を頑張ろうとしている気持ちまで失せてしまい、大きな被害となっております。

この農作物を守るため、日夜の監視、ロケット花火等による追い払いや、市が防護柵の設置支援や、農林家の方に活動の助成を行い、有害獣を多く捕獲してもらえるようお願いしています。

また、二ホンザルは名張市と共同で取り組んでおり、計画的に捕獲したり群れの移動状況を知らせる先進的な技術を導入し対策しています。また野生動物追い払い犬（モンキードック）によるサルの追い払いも行っており、今後の実践活動と効果を期待しているところです。

この他、集落各地の誰も収穫をしない柿や栗等の果樹はサルの餌となり、サルを呼

び寄せていることにもなっていますので、このような果樹を伐採したり、サルの住み家や逃げ場所になる里山や草木、雑木の生えた田んぼや畑等、見通しが良くなるような管理をお願いしているところです。



10周年記念事業  
ゴミ・糞尿の処理  
スポーツ教室の開催  
農産物のブランド化と地産地消  
定住促進  
有害鳥獣対策



宇陀市誕生10周年記念事業の一環として、7月28日、市議会議場において、宇陀市で初となる子ども議会を開催しました。

この事業は、将来を担う子どもたちに宇陀市のまちづくりについて考えてもらうこと、社会の一員としての意識を深めてもらうことを目的に実施したもので、市内各小学校6年生の中から選ばれた15名のみなさんに議員として参加いただきました。

子ども議員は、議長1名と議員14名に分かれ、市議会と同じように議会を進め、市長や教育長に対し、それぞれに考えてきた質問・アイデア・ご意見・要望を一般質問という形でしっかりと述べてくれました。

一般質問では、子どもたちの視点から、身近なところによく目を向けて真剣に「それはどういうことなんだろう?」「市はどう考えているんだろう?」といった問題を見つけていく姿勢をす

ばらしく感じました。そして「問題を解決するにはどうしたらいいんだろう?」と自分なりに解決策を提案してくれたことに、みなさんにある「宇陀市が好き」という気持ちを感じるところができ、うれしく思いました。

今日の教育課題の一つに、地域の生活の中から課題を見つけ、その課題に対して解決していく、そういった力の育成が求められています。今回の経験を通して、今後の生活の中で地域社会の一員として地域に関心と理解を深めることにつながっていくことに期待しています。

今回参加してくれたみなさん、そして子どもたちと一緒に質問に取り組んでいたご家族や学校の方々感谢您的。ありがとうございます。

この模様は、

9月13日(日) 13時～15時 うだちゃん11で再放送  
9月1日～10日、宇陀市ホットニュースでも放送

<http://www.youtube.com/watch?v=90M736lZwqY>

